

7月に実施した台湾短期交換留学（受け入れ）についてご報告です！

短期交換留学プログラムの参加者は、高等部2年生の稲垣くん、斎藤さん、高山さん、増田くん4名と中等部2年生の東藤さん、簗さん、岩崎さん3名です。

昨年度同様、国際交流委員のみなさんが大活躍してくれました。

また、中等部1年生の国際系列のみなさんも交流パーティーで可愛い「はにたんダンス」を披露してくれました。

▼関西大学訪問



日付	実施内容
7月11日	到着→顔合わせ会
7月12日	授業参加→関西大学訪問
7月13日	プレゼンテーション→和菓子作り体験
7月14日	ファミリーデー
7月15日	ファミリーデー
7月16日	授業参加→国際交流パーティー
7月17日	初等部交流→バディーと送別会→帰国



▲プレゼンテーション（高等部）



▲（中等部）



和菓子作り▶



◀国際交流パーティー



▲中等部けん玉披露



▲高等部2年生全体

プログラム参加者の感想

すごく楽しかったです。私はこの交換留学の受入をして、人の事を考える大切さ、また難しさ、大変さをとても知ることができました。また、英語が上達しました。単語も30個以上は知ることができました。いつも話す時は一度頭で英語を考えて話していました。このプログラムに参加して後悔は全くないし、自分はたくさん学ぶことができて幸せだなと感じました。 【J2A 簗ひまり】

交換留学と聞くと初めは異文化を知ることができるという気持ちが強かったのですが、いざやってみると、改めて自国の文化について詳しく知ることができ、いい機会でした。また、初めは自分の言っていたことが伝わるのかとても心配でした。自分の言いたいことが伝わらず困ることも初めは沢山ありました。しかし、時間が進むにつれお互いの絆が深まり、初めは伝わらなかったこともどんどん伝わっていきとても楽しい時が過ごせました！ 【J2A 東藤万弥】

私は英語が苦手で全然喋れなかったのですが、交換留学生とコミュニケーションを取っていく上で会話ができるようになっていきました。また、交換留学生側もたくさん話そうとしてくれるので会話が弾みとても楽しい時間になりました。台湾交換留学の受け入れをやってみて台湾の印象も変わるし、自分の自信にも繋がると思いました。まだ、訪問が残っていますが、しっかりコミュニケーションをとって楽しいものにしていきたいです！ 【J2B 岩崎衣津未】

たくさんバディとの会話をして意思疎通を図ることと、留学生を受け入れることを通じて、今まで意識していなかったことや今後の自分に何が必要かを学びました。まだ英語をみんなの前で喋る時に緊張してしまうので、もっと英語と触れ合って英語の会話で笑うことができるくらい、余裕を持てるように勉強していきたいです。 【S2A 稲垣完汰】

日本に住んでいたのに日本に良さにたくさん気づきました。外国人が見たらどう思うのかなってずっと考えていたからだと思います。初めてのホームステイで家族全員不安と楽しみでいっぱいでした。一週間過ごして、台湾生が隣にいること以外は何も変わらなかったのに、毎日が初めてのことで良かったです。こんなに素晴らしい経験をさせてくれた両親、先生、バディーに感謝でいっぱいです。 【S2C 斉藤小晴】

このプログラムに参加して感じたことは、もっと勉強しないとダメなこと、トライする気持ちを忘れてはいけないということです。台湾生と一緒に授業を受けて、日本語の授業でもだいたい理解して問題を解くことのできるバディーをみて、世界で活躍するためには多言語を習得して問題解決をしていかないとダメだと思いました。また、訪問時でも受け入れ時でも初めてのことで戸惑いましたが、時には真面目に、時にはラフに乗り越えていくことも大切だと思いました。初めての体験はトライしないと永遠に初めてのことでこのからの人生でその初めてを人生経験に詰め込んでいきたいと思いました。 【S2D 増田知真】

近い年齢の台湾留学生と1週間一緒にいることで、お互いの国の文化や考え方、習慣の違いなどを理解することを学びました。また、普段学校では学べない、ニュアンスの表現の仕方なども習得できてとても有意義な1週間になりました。 【S2D 高山麻帆】

限定台湾コラボデザート

今年度も国際交流委員のスイーツ担当の4名がレシピから考え、カフェテリアの協力を得て期間限定でコラボデザートを販売しました。



秋の国際交流

11月の1週間、シンガポールから留学生を受け入れます。

楽しく学びある交流にしましょう！

